

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年四月度 入選句（投稿総数八百七十七句・小中学投句数二百七十五句）

### 特選

ひなを 出し 幼き 頃を 語る 母 美濃加茂市 木股 紗弥(中二)

作者は中学二年生。いくつになっても女の子にとつてひな祭りは心弾むものです。ひな祭りが近づきお母さんがしまつてあつた雛飾りを出してこられたのですね。それを目の前にしてお母さんは初めて飾つた頃の作者の幼かつたころの様子やその後の成長、また、家族のことなどを話されたのでしょうか。ひな祭りが作者にとつて何よりの一日になったことでしょうか。親子の心の交流が伝わる温かい俳句です。

かえりみちたんぼぼきたよスキップだ 大垣市 西脇 希海(小二)

帰り道とは、学校帰りのことでしょうか。寒かつた冬も終わり、あちらこちらにたくさんたんぼぼが咲き始めましたね。そのことを作者は「たんぼぼがきた」と表現しています。一度にたくさん咲き始めたこと、春が 一気に来たことが分かります。またその道を「スキップで」という表し方で春が来たことを喜び、楽しく帰っていることが伝わってきます。読んでいる人も楽しくなります。

野や 山に 色を つけて く 春の 風 大垣市 かわ本 じゅり(小三)

寒かつた冬の間、山も野原も枯れ色が多くはつきりしない色だったのが、春が来て、山の木々も芽吹いて若葉の色になり、野原には春の花や草木が見られるようになりました。その様子を「野や山に色を付けてく」と書き表し、それが「春の風がつけてく」ととらえているところがいいですね。「春の風」というと季語がとても生きています。

### 秀逸

つくしで たわたし とおなじ さんしまい 大垣市 すみ田 ゆな(小二)

つくしさん いっぱい ならんで 大かぞく 大垣市 西野 としき(小三)

春雨が ねむる 草木を おこしたよ 大垣市 こうとく ゆかな(小三)

思い出が つまっぺ おもい ランドセル 大垣市 林 菜 緒(中二)

たんぼぼの ライトが いっぱい いうがくろ 大垣市 西脇 希海(小二)

ばしようさん さくらのかさ ではなくよむ 埼玉県さいたま市 小林 和花子(小二)

新学期後 輩きた からかっこよく 美濃加茂市 汲田 翔吾(中二)

桜咲き 今年の 思い出よみがえる 美濃加茂市 篠田 美結(中二)

くわふるう そばでも ねてるひき蛙 大垣市 西本 多恵(小四)

桜さく木の下 通るトンネルだ 大垣市 多賀 遥(十一才)

入選

はるやすみみんないっしょにっこりだ 大垣市 なかい しおう(小二)  
 ふきのとうはるのおしらせありがとう 大垣市 やばしりようたろ(小二)  
 こんにちは一年ぶりねはるのかぜ 大垣市 えさき あやね(小二)  
 かぜふいてさくらはなびらはるのゆき 大垣市 すあみ ももか(小二)  
 お父さん大いそがしだ木のめどき 大垣市 吉川 しおん(小三)  
 ひなまつりずっとこの日をまっていた 大垣市 室 るな(小三)  
 おひなさま一年ぶりにうれしそう 大垣市 すぎうら ひなた(小三)  
 きものきてひなにんぎょうとおそろいだ 大垣市 日び野 しおり(小三)  
 おひなさま十二ひとえでおもくない？ 大垣市 高木 果歩(小三)  
 おひなさんかぎってほしいまってるよ 大垣市 遠どう せいな(小三)

入選

ひなまつりめいんイベントいもうとだ 大垣市 の村 しゅんすけ(小三)  
 ひなまつりぼくの妹にこにつこ 大垣市 し水 りんたろう(小三)  
 バレンタイン私の気持ちが届くかな 大垣市 増田 実恵(小六)  
 ハルジオン仲間と共にそよいでる 大垣市 野川 未帆(小六)  
 学年が変わる目じるし桜の木 美濃加茂市 清水 颯太(中二)  
 ぴかぴかの教科書うれしい新学期 美濃加茂市 西川 乃愛(中二)  
 墓蛙 目覚し時計は 鯀の音 大垣市 西本 多恵(小四)  
 舟下り水門川にさくらまう 大垣市 立川 果暖(九才)  
 桜ふり笑顔あふれるたらい舟 大垣市 平井 湖都(十一才)  
 まんかいのさくらのしたでらんどせる 大垣市 おおぜき あやか(六才)

選者吟

満天星を揺らして見らのかくれんぼ

祐

子